

提出  
順番

No.  
3

令和 2 年 8 月 27 日  
午前・~~午後~~ 4 時 45 分受領

令和 2 年 8 月 27 日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

幕別町議会議員 岡本 眞利子



## 一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨
1 「新しい生活様式」に向けた諸課題について	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大によって密を防ぐ「新しい生活様式」を築くためビジネスや経済活動が動き出しています。</p> <p>今後は、「新しい生活様式」を定着させるため、具体的な課題解決に向けて本町としても推進していかねばなりません。そこで以下の点について伺います。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>① コロナ禍における小中学校の熱中症対策は。</li><li>② 図書館、体育館など人の集まる公共施設空間の「密」を可視化するためのオンライン情報やアプリなどを活用した予約システムの確立の考えは。</li><li>③ 地域コミュニティ力が低下する中、コロナ禍によってさらに低下している。地域活動を再開し活発化させるための支援の方法は。</li><li>④ 新型コロナウイルス感染症による不安、ストレス、差別・偏見、誹謗中傷など心の問題や職場、地域でのコロナハラスメントの状況と対応についての考えは。</li></ul>
2 若年性認知症への理解と支援について	<p>認知症は一般的には、高齢者の方に多く見られる症状ですが、65歳未満で発症した場合に若年性認知症とされます。</p> <p>国の調査によりますと若年性認知症の推定発症年齢は平均51歳、いわゆる働き盛りの世代であり本人だけではなく家族の生活への影響が大きいにも関わらず、その実態は明らかではなく支援も十分ではないのが現状です。</p>

本人や配偶者は現役世代であり仕事に支障がでたり、仕事を続けることができなくなるなど、経済的にも困難な状況に陥ることも考えられます。

さらに、企業や地域社会の理解は十分ではありません。

そこで、まずこの若年性認知症を多くの方に知ってもらい、若年性認知症の方が抱える課題を理解することで、今後の施策や支援に繋がるものと考えことから以下について見解を伺います。

- ① 本町における若年性認知症(高次脳機能障害を含む)の介護認定件数及び若年性認知症についての相談件数は。
- ② 若年性認知症の方は働き盛りであることから、経済的な基盤や社会的居場所の確保対策は。
- ③ 国が策定している「認知症施策推進総合戦略」では若年性認知症施策の強化が謳われていますが、今後、本町として当事者及び家族に対してどのような施策や支援事業を展開していくのか。

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。